

## 霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

\*当院では、下記の臨床研究を実施しております。

\*研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。

\*本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合、また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

\*診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

\*研究はあくまで日常診療から集積された診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様にかかる負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名 (承認番号)	重症喘息における生物学的製剤への反応性を規定する因子の検討 (R01-350)
研究責任者の氏名 (部門)	檜澤伸之 (筑波大学医学医療系呼吸器内科教授) 重政理恵 (霞ヶ浦医療センター呼吸器内科医師) <b>2022-10</b>
研究の対象者 (研究対象期間)	本研究は、重症の喘息に対して生物学的製剤※と呼ばれるくすり(ゾレア、ヌーカラ、ファセンラ、デュピクセント)を使用中の患者様が対象です。 (2020年3月11日から2022年8月4日まで)
研究の目的	個々の患者様に最適な生物学的製剤の選択や休薬の可能性などを検討し、より効果的な喘息治療を受けられるようにすることが目的です。
研究の方法	生物学的製剤をお使いの患者様を対象に、どのような臨床情報が治療効果に影響しているのかを診療情報をもとに解析します。
研究に使用される 診療情報項目	通常診療で行った問診、身体所見、検査結果(血液検査、肺機能検査)、治療内容を用います。
個人情報の保護について	すべての記録や研究結果は連結可能匿名化を行ないます。研究を実施する者は誰の資料か判らない状態で解析を行ないます。番号と氏名との対応表は個人情報管理者が厳重に管理します。
共同研究機関の有無 (名称、責任者氏名)	筑波大学附属病院呼吸器内科：研究代表者、呼吸器内科教授 檜澤伸之
備考	※生物学的製剤：生物学的製剤とは化合物(化学的に合成された物質)とは異なり、生物が産生する蛋白質などを医薬品として利用するものです。化合物とは異なり、特定の標的以外に反応しないことが特徴です。喘息では、IL-4(インターロイキン-フォー)、IL-5(インターロイキン-ファイブ) IL-13(インターロイキン-サーティーン)やIgE(アイジーイー)などの多くの体内物質が気道に炎症を引き起こしたり、喘息を重症化させたりしています。これらの体内物質のはたらきを抑えるのが、ゾレア、ヌーカラ、ファセンラ、デュピクセントなどの喘息に対する生物学的製剤です。

お問い合わせ先：〒300-8585 茨城県土浦市下高津 2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター (電話：029-822-5050)